

# 畝立同時播種機導入による日野菜の作付拡大

東近江農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

日野町内における日野菜の栽培面積は、平成 29 年度 3.7ha、平成 30 年度 6.3ha と増加傾向にあり、JA グリーン近江は、平成 30 年度に国庫事業を活用して「日野菜加工施設」が整備されました。当センターでは日野菜の加工用原材料としての需要に対応するため、新規栽培者の開拓と収量向上を支援しました。

## 【普及活動の内容】

JA グリーン近江日野菜生産部会役員と JA、日野町、当センターによる「日野菜調整会議」を毎月 1 回開催し、生産振興への意識統一を図り、生産拡大と収量向上を進めました。

また、JA とともに毎週 1～2 回日野菜ほ場を巡回し、生育時期に応じた病虫害防除や適期作業等を指導しました(写真 1)。その内容を小冊子『日野菜情報』にまとめ、JA を通じて栽培農家に向けて発行しました(写真 2)。

新規栽培者と栽培経験の浅い生産者には、病虫害や生育不良等の対策を個別に重点指導しました。

特に今年度導入した畝立同時播種機(写真 3)は、畝立てから播種作業が省力化でき、間引き作業が不要となることから、積極的に利用推進しました。

## 【普及活動の成果】

令和元年度日野菜の栽培面積は 8.0ha に拡大し、新たに栽培農家が 10 名増加しました。

畝立同時播種機は、栽培面積の 45% (3.6ha) で利用され、畝立て～播種～間引き作業が大きく省力化でき、一度利用された農家は全面この方式に変更されるなど、省力技術の普及が実現しました。

当センターでは、引き続き目標面積 10ha に向けて作付推進していきます。

### ◎対象者の意見

今年度は、施肥同時播種機を導入し、播種作業が省力化され、間引き作業もなくなり今までの 1/10 まで縮減できた (JA グリーン近江 日野菜部会役員)。



写真1 JAと2回/週の現地巡回指導



写真2 「日野菜情報」を12回発行



写真3 導入した畝立同時播種機